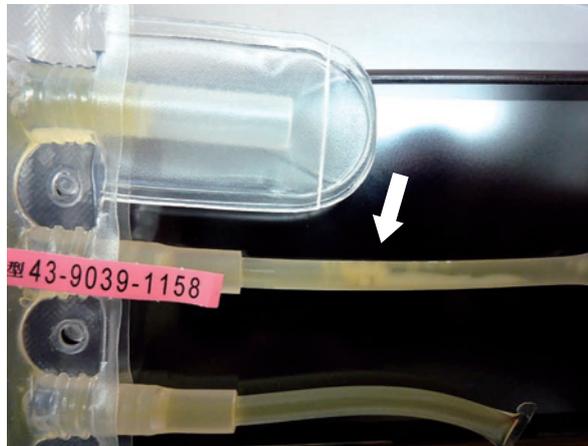


血小板製剤内のフィブリン塊



浅野 尚美 小郷 博昭 池田 亮 開 結稀 高木 尚江
佐伯 恭昌 中村 真 谷 勝真 藤井 敬子 藤井 伸治

岡山大学病院輸血部

キーワード：血小板製剤，凝集物，カルシウム塩

40歳代女性，血小板数2.2万/ μ lにて外観検査後に濃厚血小板（PC）を投与していた。投与終了間際にPCが滴下しないと病棟から輸血部へ連絡があり，PC本体のチューブ内に凝集物を確認した（図）。当該製剤を血小板輸血セットとともに回収し状況を確認したところ，同一ラインの側管からビーフリード[®]輸液（カルシウム塩含有）を同時に投与していた。血液センターへ凝集物の調査を依頼した結果，フィブリンであったとの報告を受け，ラインの閉塞によるルート内の圧力変動等で輸液製剤が逆流し凝集物を形成した可能性が高いと考えられた。

輸血は単独投与が原則で他薬剤との混注は避けるか，同一ラインで輸血する際は前後にリンスする¹⁾とされている。添付文書には，輸液製剤ではクエン酸加血液と混合すると凝血を起こす恐れがある²⁾とあり，また，血小板製剤では他の薬剤との混注は避けること³⁾とある。

事例後の輸血療法委員会にて，当該血小板製剤の写真を用い血液製剤と薬剤の混注に関する注意喚起を行った。さらに，今後も，同一ラインでの輸血により血液製剤と輸液が混合される混注が行われることがないように，具体的な表現や事例を用いての注意喚起を行っていく予定である。

著者のCOI開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし

文 献

- 1) 日本赤十字社ホームページ：医薬品情報（輸血の実施）
<http://www.jrc.or.jp/mr/transfusion/procedure/platelet/>（2017年4月現在）。
- 2) ビーフリード輸液[®]添付文書「2012年11月改訂（第7版）」。
- 3) 照射濃厚血小板-LR「日赤」添付文書「2016年4月改訂（第16版）」。

FIBRIN CLOT IN PLATELET CONCENTRATES

Naomi Asano, Hiroaki Ogo, Toru Ikeda, Yuki Hinokuchi, Naoe Takagi, Kyoussuke Saeki,

Makoto Nakamura, Katsuma Tani, Keiko Fujii and Nobuharu Fujii

Division of Transfusion Medicine, Okayama University School of Medicine

Keywords:

Platelet concentrate, Fibrin clots, Ca²⁺

©2017 The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy

Journal Web Site: <http://yuketsu.jstmct.or.jp/>